ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

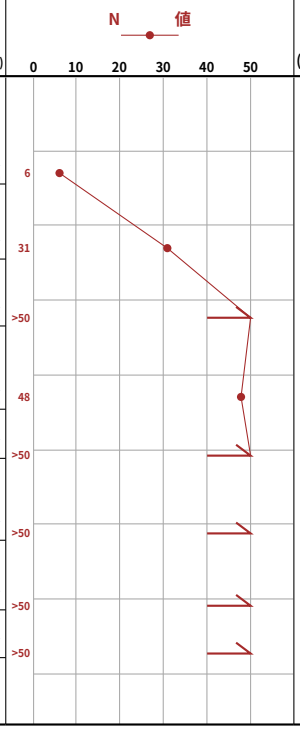
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	BL-3	調査位置				北　緯	36 ° 37 ' 58.2000 "
発注機関	栃木県烏山土木事務所		調査期間	2008-10-22 ～ 2008-10-23		東　経	140 ° 13 ' 27.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	183.74 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 40.00 °
総掘進長	7.79 m	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具		
			エンジン		ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	182.44	1.30	1.30		崖錐堆積物 (Tl)	暗茶褐		軟らかい	礫混じり粘性土 径φ20～30mmの岩片混じる 含水比中位　粘性上位		
2 3 4	179.04	3.40	4.70		風化粘板岩 (Sl)	暗茶褐～暗灰～暗茶褐			古生層の基盤岩 土砂状～礫状コアで採取される コアの岩芯まで風化し脆い 岩片自体もやや脆く割れやすい 深度2.70～3.30m間暗灰色呈す 深度3.90m付近より砂質帯びる		
5 6 7 8	175.95	3.09	7.79		砂岩 (Ss)	暗褐灰～暗灰～暗褐灰			片状～棒状コアで採取される 深度5.50m付近斜状クラック見られ、クラック面は粘土が付着 深度6.10m以深クラック多く、一部礫状コアとなる 深度6.50m付近より暗灰色呈し硬質となる 深度7.60mより密着クラックやや多く、一部クラック面が褐色帯びる		10/22 10/23

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	2	3	6／30	6
1.45					
2.15	9	11	11	31／30	31
2.45					
3.15	23	27／9		50／19	>50
3.34					
4.15	17	12	19	48／30	48
4.45					
5.05	50／6			50／6	>50
5.11					
6.05	40	10／6		50／16	>50
6.21					
7.05	50／9			50／9	>50
7.14					
7.70	50／9			50／9	>50
7.79					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日